

九月定例会 主な議案の審議経過

乳幼児医療費助成条例の一部改正について

子育て支援、少子化対策として若い世代が安心して子育てができる環境整備を拡充するため、十月一日から通院費の助成対象を「四歳児まで」に、入院費の助成対象は「十五歳まで」に改正する内容であります。そのほか、県が設ける所得制限を設けないほか、三歳児の通院で一カ月千円の助成対象者負担金も市が負担するものであります。

審査においては、拡充に伴う予算については、県の改正分及び本市拡充分としての支出積算額は約二千百万円で、県の補助金として三百万円余を予定し、約千八百万円の持ち出しになるとの説明がなされております。委員からは、制度の趣旨説明を徹底することや財源確保に努めることなど多くの議論がなされ、全会一致で可決されました。

駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限延長に関する意見書を可決

定例会最終日の二十八日に比嘉憲康議員ほか八名の議員から「駐留軍労働者は、米国の軍事政策など不安定な雇用状況に置かれており、在日米軍再編に伴い、雇用継続が困難となる事や県内の深刻な雇用情勢など駐留軍労働者の再就職、自立は容易でないため、有効期限延長について関係省庁にお願うこと」を趣旨とする意見書案が提出され、全会一致で可決し、各関係機関に要請いたしました。

職員の給与に関する条例の一部改正を修正可決

六月定例会に提案され、継続審査となっていた同案件について、通勤手当は国、県に準ずるため認めるが、特殊勤務手当は支給根拠の説明に納得できず、また給与・職場改善等委員会についても外部の第三者を含めた委員会でなければ市民に説明はできないとの理由で特殊勤務手当の改正部分を削除すべきとの修正案が提出され、採決の結果、賛成多数（賛成二十、反対七）により修正可決されました。

常任委員会の所管事務調査

◎総務常任委員会

期間 平成19年11月6日
～8日

▼千葉県市川市

・ PFI事業の取り組みについて

・ 学校施設と公会堂及び保育園との複合施設の視察

▼神奈川県川崎市

・ オンブズマン制度について

◎建設常任委員会

期間 平成19年11月6日
～8日

▼千葉県八千代市

・ PFI事業の取り組みについて

・ 学校施設と生涯学習施設との複合施設の視察

▼埼玉県深谷市

・ 公園のユニバーサルデザイン取り組みについて

◎経済民生教育常任委員会
期間 平成19年10月30日
～11月1日

▼埼玉県川口市

・ 環境を考慮した学校施設（エコスクール）事業

・ 公共公益施設の視察

▼東京都稲城市

・ 介護予防事業について
・ 介護支援ボランティア
・ 控除について



総務常任委員会



建設常任委員会



経済民生教育常任委員会

市議会の動き

平成十九年九月二十八日の第三三四回市議会定例会において、会派所属議員の異動に伴い、議会運営委員会及び基地関係特別委員会委員の構成が次のとおり変更になりました。

◆議会運営委員会

- ▽新委員 平良眞一議員
- ▽旧委員 桃原功議員

◆基地関係特別委員会

- ▽新委員 仲村春松議員
- ▽旧委員 大城君子議員

議会日誌

平成十九年（十月）

2日 宮崎県宮崎市より視察

18日 群馬県安中市より視察

23日 愛知県岡崎市より視察

29日 沖縄県市議会議長会
議員・職員研修会

31日 長崎県諫早市より視察

平成十九年（十一月）

8日 新潟県小千谷市より視察

8日 広島県広島市より視察

9日 青森県つがる市より視察

9日 青森県三沢市より視察

13日 徳島県三好市より視察

経済民生教育常任委員会
（～15日まで）

15日 総務常任委員会
（～20日まで）

福岡県大川市より視察

20日 北海道芦別市より視察

27日 神奈川県横浜市より視察

28日 議会運営委員会

29日 第三三五回臨時会

西海岸地域の開発に関する特別委員会

基地関係特別委員会

市議会を 傍聴しましょう！

次回十二月定例会は、十二月五日（水）に開会を予定しております。

一般質問

今定例会は、次の22名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありましたが、紙面の都合上簡潔に掲載いたします。なお、詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管してありますので御参照下さい。なお、市のホームページにも掲載しますので御利用下さい。

少人数クラスについて 伊波秀男 議員

◎議員 本市の小・中学校の目指すべきクラス当たりの生徒数を教えてもらいたい。

◎宮城盛雄指導部長 理想としては二十人程度と考えますが、現状においては不可能です。各学校においてそれぞれ少人数指導等により指導の効率化を進めております。

◎議員 過密校解消は難しいと思いますが、今後は少人数クラスの取り組みに努めていただきたい。そこで、指導ボランティアの活用状況はどうなっていますか。

ラウンドワン進出の是非について 仲村春松 議員

◎議員 ラウンドワンと協定書を締結する前に、市長みずから撤退をさせることも必要ではないかと思いますが、それについての見解を伺います。

◎伊波洋一市長 この施設が決して青少年の健全育成を阻害するものにならないように誠意を持って取り組んでいきたいと考えています。また、アフターコンベンション機能としての総合レジャー施設に発展できるよう、企業誘致を実現してまいります。

◎議員 地域あるいは学校、青少年協、PTA関係者の意見を全て反映できると理解していいか。

◎新田宗仁市民経済部長 企業側と交渉する中で、各団体から提示される営業時間等について、市としても間に入ってしっかりと調整し、規制をかけていきたい。

◎議員 地域あつての企業であり、遊技場だと思えます。建設に当たっては、地域との協定書が締結した後に、この事業を進めてもらうよう強く要望いたします。

野高石畳道について 大城君子 議員

◎議員 野高一区内には数々の名勝があり、その中でも野高石畳道は大切な文化財で、地域の方からも石畳道を中原野高一号まで復元してほしいと強い要望がありますが、どのように考えていますか。

◎新田和夫教育部長 御指摘の地域は欠落部分が大部分で、県道側から東側約百二十メートルの部分は平成三年に史跡に指定しておりますが、文献資料や写真等が少なく現状も県道で寸断されている状態です。今後はどのように整備するかを検討していきます。

◎議員 完全に石畳道がなくなっているわけではなく、石畳が残っている部分もあるので、ぜひ復元してもらいたいが、その見解を伺いたい。

◎新田和夫教育部長 石畳が一部残っている部分は旧里道で、文献、歴史的な資料を収集し、地元意見を聞きながらぜひ検討したいと思えます。

◎議員 文化財の指定、整備は大変大切なことだと思えますので、しっかり取り組んでいただきたいと思います。



市指定史跡 野高石畳道

二学期制導入について 島袋亀次 議員

◎議員 小中学校の二学期制について、地域や保護者等への周知方法は、どのようになされているのか。

◎宮城盛雄指導部長 学校間で若干の取り組みの差がありますが、校長会等を通じて四年前から計画的に行っております。今年度四月に全児童、PTAに対し、パンフレットを配布して制度周知に向け取り組んでいます。地域へは各自治会の地域懇談会の中で説明しており、市の広報やホームページ等にも趣旨等を掲載し周知徹底しております。

◎議員 今回、モデル校を指定しないで、全校一斉に導入することになった理由について伺いたい。

◎宮城盛雄指導部長 県内の四〇%の学校で行われ、児童生徒数では六〇%を超えていることや、先進校の成果課題等を十分検討した結果、全校同一スタートが望ましいと判断しました。

◎議員 ぜひとも四月にはスムーズに移行できるよう頑張ってください。



市民駐車場の運営について 伊佐光雄 議員

○議員 新聞にも出ていますが、市が管理委託している市民駐車場の決算報告が七年間もなされておらず、ずさんなり方が行われていますが、今後どのような解決を図っていくのか。

○新田宗仁市民経済部長 四月二十五日に普天間商店街活性化推進協議会会長あてに収支決算報告の基礎資料の提出依頼を文書で行っており、今後、市民駐車場に関しては新しくできた組織と十分詰めることから管理運営を進めてい

いと思っております。

○議員 過去七年間の決算報告を求めていくと言っているが、これは実際可能なのか、そしていつまでにやるのか。

○新田宗仁市民経済部長 改めて内容証明等で、二週間以内には提出するように求めていきたいと考えています。

○議員 七年間決算報告が出ないということは、その売り上げに対しても疑義が生じてきます。今後の推移を見ながら次の一般質問等でまた取り上げていきたいと思えます。



市民駐車場

「ちゅうらさん運動」について 喜舎場 保 議員

○議員 日本一安全な沖縄県を目指す「ちゅうらさん運動」の取り組みについて伺いたい。

○新田宗仁市民経済部長 自治会、警察、学校、事業所、地域住民が一体となって推進を図っているところです。また、各専門部会を立ち上げ、青少年の健全育成や地域の自主防犯活動の促進を推進しています。

○議員 本市におけるその運動の成果はどうですか。
○新田宗仁市民経済部長 防犯ボランティア等による見守

大山小学校について 座間味 好子 議員

○議員 大山小学校の過密解消のめどについて伺います。
○新田和夫教育部長 ことし

いっばいに分離新設校の建設に向けた具体的な計画案を策定して市長に報告したいと考えています。めどとしてはことしいっばいで方向性は出していきたいと考えています。

○議員 この分離新設に要する財政の負担はどうですか。
○米須清栄企画部長 試算では四十六億円程度です。教育委員会の方でさつちりと方針及び実施計画が出た段階で、

財源については具体的に調整していきたいと考えています。
○議員 過密解消に対する市長の決意について伺いたい。

○伊波洋一市長 この課題が二十一年にわたって解決できていないことについて、私たちとしては大変責任を感じております。この二期目においてぜひ解決のめどをつけたい。

○議員 教育委員会と市長の方から大変力強い決意を聞くことができたので、ぜひ進展させて一日も早い過密解消がされることを願います。

行財政改革について

前川 朝平 議員

○議員 皆さんが改革を進めて利益を獲得するのはだれのためですか。職員のためですか。市民のためですか。

○伊波洋一市長 市として目指しているのは、我々がいか

に市民のために還元できるかです。本市の経常収支比率は八十五%ですが、数値自体は今県内の中では一番低い数値で、これにより年

間五十億円ほどの政策事業を行い、これが市民への還元となり英語特区事業や生活道路の整備、いろいろな事業等が

実現できているわけです。

○議員 経常収支比率が八十五%で低いと言いますが、他市町村は他市町村であって、本市

は普天間飛行場や瑞慶覧基地の問題、再開発事業等、これからの事業がたくさんあり、

そういう認識ではよくないと思います。職員にしても、補助団体にしても行革の痛みはみんな同じです。痛いんです。議会も定数削減をしました。この痛みは市民のためだということに肝に銘じて、行財政改革をやっていただきたい。



過密解消が求められる大山小学校

リサイクル型社会について 大城 政利 議員

○議員 前回の六月議会には具体的にマイバッグ運動とか、クリーンリーダーの計画を策定していくとありましたが。

○新田宗仁市民経済部長 クリーンリーダーについては日常的に連携をとりながら、現在さまざまな取り組みをしています。マイバッグ運動等については婦人会や各団体との連携を深めながら、これから模索していきたいと思っています。

○議員 十年かけてもまだできていない。これはほんの一例ではありますが市を象徴していることだと思えます。しっかりと頑張ってください。

障害者雇用対策について

佐喜眞 進 議員

○議員 採用年齢枠の引き上げも検討できないか。

○伊波信栄総務部長 ことから採用年齢を三十二歳から三十九歳に引き上げておりますが一般採用試験との兼ね合いや新人として四十歳以上を採用して職場に適用できるか等、いろいろな問題を含めてこれは検討課題とさせていただきたい。

○議員 市内の民間企業で法定雇用率を達成している会社は何社ありますか。また促進に向けてどういった取り組み

公園整備について

谷畑 誠 議員

○議員 森川公園内多目的広場の改善については、地域からも要望があり、真ん中の盛り上がり方を平らにして周りに軽く座れる土手をつくり、利用頻度の向上と市民の健康増進を図るべきだと考えますが、いかがでしょうか。

○松本真治建設部長 子供たちが安心して遊べる広場として整備の必要性を痛感しているところですが、関係部署と調整して早めの対策を講じたいと思います。

○議員 次に、比屋良川公園

AEDの利活用について

伊波 一男 議員

○議員 各種スポーツ大会において、AEDが必要になる場合があると思いますが、今後学校等へ設置していく予定がありますか。

○宮城盛雄指導部長 次年度に向けて、まずは中学校から検討していきたいと思えます。

○議員 AEDが公共施設等であれば、利用者が講習を受けようという気持ちになり、受講者を増やすことにつながると思えます。AEDがあってもさわれないという状況をつくらないためにも講習を開

催したり、貸し出し事業などを行う必要があると思えますがいかがでしょうか。

○新田和夫教育部長 市民の命を守るという立場上、今後には便宜性、効率性を考え関係部署と連携しながら協議していきたいと思えます。

○議員 各種スポーツ大会には、応援のために多くの人が来ます。不測の事態に備え大人数のAEDだけではなく、小児用も設置し、もっと市内各施設に万全な対策をとってください。

固定資産税について

名城 宏 議員

○議員 六月から自治会や郷友会が有する資産に固定資産税を課したのはなぜですか。

○伊波信栄総務部長 総務省からの通達により、公共の用に供しない資産については課税するというところで、条例と要綱を定めました。

○議員 通達には公益性の有無等要件に該当するかを厳正に判断することとあるが、自治会の育成、地域環境整備にしか使われてない場合、公益性といわれないのでしょうか。

○伊波信栄総務部長 本市は行財政改革に取り組んでおりまして、税収を含めすべてに点検を行っております。当然課税すべきものについては課税をして納めていただくというのが私どもに課せられた責務だと考えており、今回条例改正によって厳格に減免に対する基準の見直しを行ったというところがございます。

○議員 地域活動のみには使われてなく、その地域の状況を確認しないで一律課税する本市の姿勢は地方分権に逆行していると思えます。



森川公園の多目的広場

都市機能用地について 又吉 清義 議員

◎議員 第一街区については、企業立地検討委員会で決定したのは三十四階建てのホテル、現地法人を立ち上げて経済活性化や雇用拡大に寄与すること、資金調達も大丈夫という確信のもとで許可したと思うが、現時点においてしっかりと守られていますか。

◎新田宗仁市民経済部長 三十四階建てから十四階建てに修正されたことは、平成十八年六月に皆さんと議論をしたところです。資金調達については第一街区と第二街区あわせて連携をしながらホテル開発を進めていきます。また、企業立地検討委員会で決めた大型ホテルを進捗していくことに変更はありません。

◎議員 第三街区のラウンドワンについて、アフターコンベンションとしてアミューズメントが必要だと言っていますが、どのような理由からか。

◎安里猛副市長 企業立地検討委員会や内部での議論の中で、悪天候や台風時における観光客等の誘導というのも大事だという観点からです。



開発の待たれる都市機能用地

地域雇用創造推進事業について 呉屋 等 議員

◎議員 本市は失業率改善、雇用機会創出のため厚労省に地域雇用創造推進事業への応募をし、内定を受けたとのことですが、具体的な内容や目的などをお聞かせください。

◎新田宗仁市民経済部長 ITのスペシャリスト育成、ホテルマン育成、外国語翻訳、通訳、ベンチャー育成など人材育成による雇用拡大を図っていくものでございます。

◎議員 単年度で一億円の予算がかかっておりますが、ハローワークと直結した求人検索システムもございませうか。

◎議員 素システムもございませうか。

◎新田宗仁市民経済部長 地域職業相談室には既にそのようなシステムが設置されているということですが、国から事業採択が見送られました。

◎議員 この事業は完全失業者を救済するというより、働いている方のキャリアアップの意味合いが強い気がします。財政難のなかで予算を投じているので、本市の五千百十五名の完全失業者に対する就職のための仕組みをもう一度検討してほしい。

建築基準法改正について 平良 眞一 議員

◎議員 今回の建築基準法改正で大きく変わった点の説明をいただきたい。

◎松本真治建設部長 構造計算書の巧妙な偽装等にも対応するため、建築主事とは別の一定の技術力を有する適合性判定機関のチェックを受けることと、申請中の図面等の差しかえ等が偽装の温床になったとの理由から認められなくなりまして。

◎議員 経済に与える影響をどのように考えているのか、そして、どのような取り組みを考えているのか。

◎松本真治建設部長 確認申請を手控えたりする状況が考えられると全く影響がないとはいえないが、一時の業務の停滞状況は徐々にではありますが、改善されております。市としては経済活動への影響に配慮して建築関係団体と連携を図りつつ、建築確認業務がスムーズに運用できる環境を整えていきたい。

◎議員 市民、業者に対して悪い影響が出ないよう、しっかりと取り組んでいただきたい。

基地行政について 桃原 功 議員

◎議員 普天間飛行場返還合意から十一年もたつのですが、日米両政府は、新しい基地として名護に持つていこうと進めている。米国に強く物が言えない日本政府に大きな責任があると思うのですが、どのように論破していくのか。

◎山内繁雄基地政策部長 県民世論調査では、政府の取り組みに対し、七十二%の県民が評価しないとの結果です。来年の七月にはグアムの計画書ができますので、移転の検証を初め、市民の声を背景に、

◎議員 普天間飛行場返還合意から十一年もたつのですが、日米両政府は、新しい基地として名護に持つていこうと進めている。米国に強く物が言えない日本政府に大きな責任があると思うのですが、どのように論破していくのか。

◎議員 どうやって基地の負担軽減をするのか。いろんな団体を網羅し、何らかのアクションを起こす予定はないか。

◎伊波洋一市長 ヘリの飛行実態から、住宅地域や学校等に墜落する可能性は極めて大きいと思います。県内移設を前提にしないで返還、閉鎖を求め、同時に、もっと早く飛行場の運用の停止により安全を実現していくことを、なお一層取り組んでまいりたい。



住宅地に隣接した普天間飛行場

郷友会等所有の不動産について 呉屋 勉 議員

◎議員 郷友会等所有の不動産への課税については、長年課税をしてこなかったが、今回収入があるとみなされている物件については、すべて固定資産税が課せられており、今後、本市の課税による影響で収入のある軍用地等の名義人になっている方々に所得税や相続税、譲渡税などが発生してこないか。

◎伊波信栄総務部長 私どもは課税対象になるとは考えておりません。あくまでも郷友会の収入であり、その本人の収入ではないからです。

◎議員 名義人等は心配しており、いまだ郷友会等の役員や全名義人との意見交換、課税するに至った経過説明を早急に行う必要があると考えますが、いかがですか。

◎伊波信栄総務部長 十分な説明を行っていきたい。

◎伊波洋一市長 説明不足の面もあり、郷友会の方々に御迷惑をおかけしておりますが、課税の仕方については厳格にせざるを得ないということをご理解願いたいと思います。

福祉行政について 知念 吉男 議員

◎議員 高齢者のひとり暮らしや二人世帯の生活状況の実態把握はされているのか。

◎米須厚福福祉保健部長 ひとり暮らしの調査は、今年の二月に行い、経済状況、家族状況、健康面など多岐にわたって実態把握をしたところでありますが、二人世帯については行っていません。今後やらなければいけないと思っています。

◎議員 ぜひ二人世帯を十分調査していただきたい。

次に、無年金者、無年金予備軍の人数とその対策にどう取り組まれているのか。

◎新田宗仁市民経済部長 無年金者につきましては、さまざまな条件等があり、正式な実数は把握できておりませんが、無年金予備軍については、平成十八年度で四千八百九十二名の方が想定されております。対応策として年金相談員三名を配置し、いろいろな調査により、個人資料を作成して戸別訪問を行っています。

◎議員 市独自で基金制度や貸し出し制度を創設されるようお願いしたい。

消防の救急体制について 新垣 善正 議員

◎議員 消防の救急出動件数と救急隊員が行った十八年度中の応急処置の件数及びその内容をお聞かせください。

◎上江洲勇消防長 処置件数は、全部で二千七百四十四件です。多くの処置が血圧測定と血中酸素飽和濃度の測定で、特に救急救命士だけができる静脈路確保のリングルを打ったのが十三件なごです。

◎議員 今までは医療でしかできなかった部分を救急救命士がやることになっているが、本市の救命士の充足率は足りておりますか。

◎上江洲勇消防長 現在本市には二十三名の救命士がおりますが、フル稼働の三名ずつの資格を持った者を搭乗させるためには二十七名が必要ですので、まだ不足です。充足率で八十五%程度ですが、新陳代謝もしなければなりませんので、なお養成をしていきたいと思っております。

◎議員 市民の生命と財産の安全を守るのが、我々議員と皆さんの仕事ですので、ぜひ100%を目指していただきたい。



消防署 我如古出張所

保険証に臓器提供意思表示欄を！ 比嘉 憲康 議員

◎議員 臓器不全で移植手術を希望する患者さんに対し、現在は、臓器提供移植カードがあります。今回私の提案は、国民健康保険証に臓器提供意思表示欄を新設してもらいたい、考えを伺いたい。

◎米須厚福福祉保健部長 保険証には表示シールを張る十分なスペースがなく、変更するにも簡単に行えない状況であり、今後記載事項の見直しをする中で検討していきたい。

◎議員 設置している市町村もあり、家族で話し合う機会が持てる利点や、さらにお金もかからなくて、移植を受ける機会がふえ、医療費の抑制にもつながるのではないかと考えます。

◎伊波洋一市長 意思表示の普及そのものが十分でないという現状を考えますと、国保加入者だけではなく、市民全体にやはり臓器提供カードの普及をしていくことのほうを優先的に取り組むべきではないかと考えます。

◎議員 保険証にシール形式でできますので検討してほしいと提言しておきます。

妊産婦健診助成事業の拡充は？ 岸本 一徳 議員

◎議員 政府は、妊産婦に対する無料健診の回数をふやし、市町村が実施する少子化対策事業の財源を強化するとのことですが、本市は妊産婦健診助成事業について、現在の二回から最大何回まで拡大を検討されているか。

◎米須厚福福祉保健部長 国のほうも実際五回程程度ということですので、私どもも五回程を目標として、検討していきたいと考えております。

◎議員 六月議会に、マタニティマークの啓蒙啓発について検討しますと答弁いただきましたが、その後どのように反映されているのか伺いたい。

◎米須厚福福祉保健部長 財政事情が非常に厳しい折、マタニティグッズの作成には至っておりません。必要性は十分認識しており、妊産婦のニーズ調査をしているところであります。今後、調査結果を分析して実現に向けて努力したい。

◎議員 健康な子供の出生のために、健診回数を増やすこと、また本市の現状分析をしていただきたい。

第334回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果	事件番号	事 件 名	議決結果
議案第52号	宜野湾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	修 可 正 決	認定第6号	平成18年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第54号	宜野湾市水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	原 可 案 決	認定第7号	平成18年度宜野湾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
議案第59号	平成19年度宜野湾市一般会計補正予算(第5号)	原 可 案 決	認定第8号	平成18年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
議案第60号	平成19年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原 可 案 決	認定第9号	平成18年度宜野湾市水道事業会計決算の認定について	認 定
議案第61号	平成19年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原 可 案 決	報告第7号	沖縄県市町村総合事務組合規約の変更に関する専決処分の報告について	報 告
議案第62号	平成19年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原 可 案 決	報告第8号	平成18年度宜野湾市土地開発公社事業報告及び決算報告について	報 告
議案第63号	平成19年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原 可 案 決	報告第9号	平成18年度宜野湾市育英会の業務報告について	報 告
議案第64号	平成19年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原 可 案 決	意見書第7号	駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限延長に関する意見書	原 可 案 決
議案第65号	平成19年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算(第1号)	原 可 案 決	陳情第13号	駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限延長に関する陳情	採 択
議案第66号	宜野湾市印鑑条例の一部を改正する条例について	原 可 案 決	陳情第15号	地元企業並びに地元産品の優先活用について	採 択
議案第67号	宜野湾市住民基本台帳カード利用条例の制定について	原 可 案 決	陳情第16号	県産品の優先使用について	採 択
議案第68号	宜野湾マリン支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について	原 可 案 決		閉会中の継続審査申し出について 認定第1号 平成18年度一般会計歳入歳出決算の認定について 陳情第8号 宜野湾市のキャンプ瑞慶覧の返還についての要請。	承 認 (総務常任委員会)
議案第69号	宜野湾市母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原 可 案 決		閉会中の継続審査申し出について 認定第2号 平成18年度宜野湾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について。認定第3号 平成18年度宜野湾市老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定について。認定第7号 平成18年度宜野湾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について。認定第8号 平成18年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計歳入歳出決算の認定について。陳情第7号 平成19年度福祉関係予算及び施策の充実についての要請。陳情第14号 特別支援教育に関する要望。陳情第17号 妊婦健康診査の公費負担による受診回数と料金設定について。陳情第18号 悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書の提出について。陳情第19号 公契約における公正な賃金・労働条件の確保を求める意見書の採択について。	承 認 (経済民生教育常任委員会)
議案第70号	宜野湾市乳幼児医療費助成条例の一部を改正する条例について	原 可 案 決			
議案第71号	交通事故に関する和解等について	同 意			
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	答 可 申 決			
認定第1号	平成18年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査			
認定第2号	平成18年度宜野湾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査			
認定第3号	平成18年度宜野湾市老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査			
認定第4号	平成18年度宜野湾市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定			
認定第5号	平成18年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定			

第335回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第72号	宜野湾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原 可 案 決